

市町村名	沖縄市						
平成30年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-②	災害時緊急避難通路整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部署名	建設部 道路課	事業実施（予定）年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)	
事業内容	里道を活用した災害時緊急避難通路を整備し、津波等の自然災害などに対する防災力の向上を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度（令和2年度）						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		H29年度	H30年度	H30年度（繰越）	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	67,769	31,414	—		
		(b) 予算現額	44,740	25,524	—		
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 23,029	▲ 5,890	—		
		(d) 繰越額			16,366		
	A. 計 (b+d)		44,740	25,524	16,366		
	B. 執行済額		30,768	9,158	14,657		
	うち交付金充当額		33,739	7,326	11,726		
	次年度繰越額		13,435	16,366	0		
	執行率（％）(B/A)		68.8%	35.9%	89.6%		
予算の状況の説明		平成30年度に発注を行ったが、入札不調（不落）が続き、業者決定までに時間要し、年度内の工事完了が難しいことから、前払い金（9,158千円）を除く16,366千円を令和元年度に繰越した。また、予算額（16,366千円）と執行済額（14,657千円）との差額▲1,709千円については、当初、工事の変更増額分として約260万円程度を想定していたが、実際の増額分が約90万円となったため生じた。					
活動目標（指標）及び達成状況	H30活動目標（指標）		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	比屋根地区1路線30mの整備工事		目標 (1路線30m)		()	()	
			実績 1路線30m				
		目標 ()	()	()	()		
		実績					
達成状況説明	比屋根地区（1路線30m）における災害時緊急避難通路の整備工事を実施し、目標を達成した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H30成果目標（指標）		基準値（年度）	H30年度	R1年度	R2年度	目標値（R1年度）
	比屋根地区1路線30mの整備工事の完了		目標 ()	(1路線30mの完了)	()	()	()
			実績	1路線30mの完了			
			目標 ()	()	()	()	()
			実績				
【R1成果目標】 供用開始後1年目（令和1年度）の目標を以下のとおりとする。 ・避難訓練の実施1回		目標				(避難訓練の実施1回)	
進捗状況説明	津波等の自然災害などに対する防災力の向上を図るため、令和元年度に比屋根地区（1路線30m）における災害時緊急避難通路の整備を完了し、整備後に通路を活用し防災避難訓練を行っており、目標を達成することができた。						

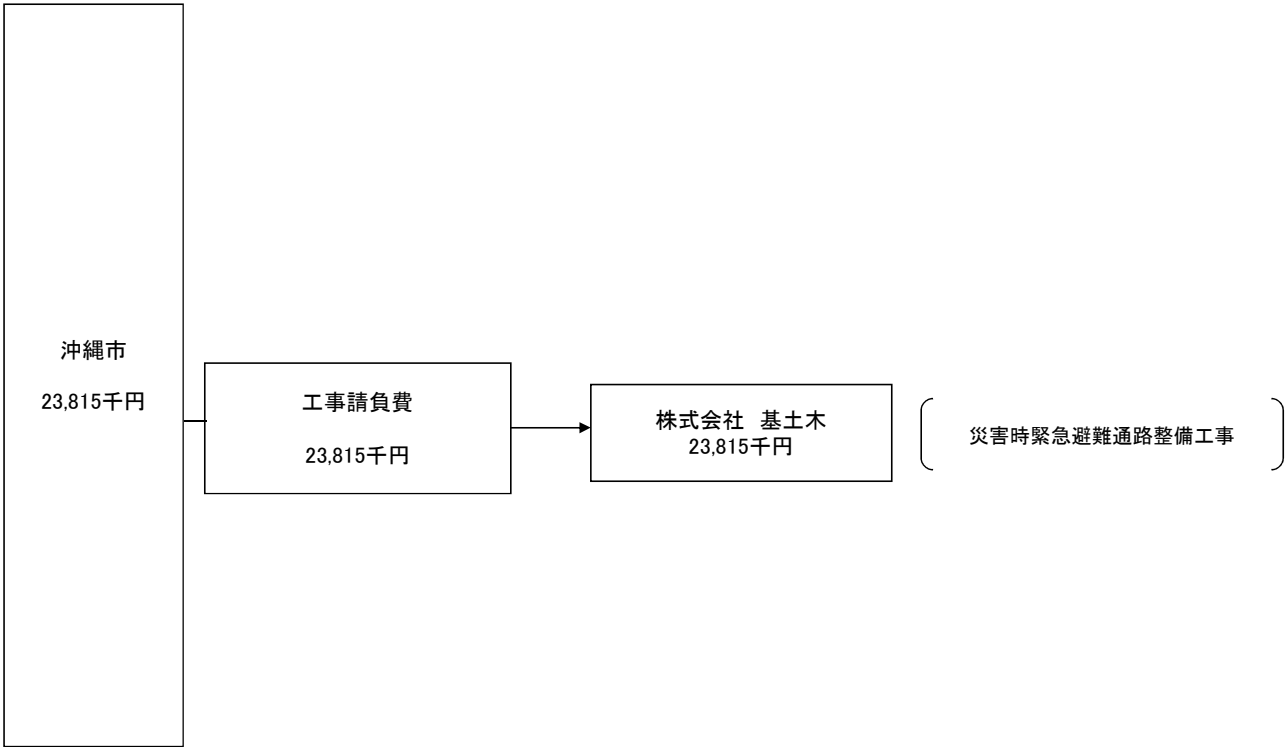
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急避難通路の工事は入札不調(不落)が続き、業者決定まで時間を要す可能性があることから、年度早期の発注を行い、十分余裕のある執行計画とすることがある。 ・整備後の住民周知が必要であり、整備後の通路を活用した防災訓練等により住民周知を行ってきたが、新型コロナウイルス対策を踏まえた避難訓練方法や避難訓練以外による周知方法についても検討を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入札不調が発生した場合を想定し、再入札や不落随意契約等の期間等も考慮した余裕のある工期設定や手続きを行っていく。 ・当該避難通路の周知については、自治会と連携を図りながら、新型コロナウイルス対策を踏まえた避難訓練の実施や防災訓練以外の方法(市ホームページや広報による周知、通路周辺地域へのポスター配布等)による周知に取り組んでいく。

今後の取り組み方針

・工事の早期発注を行い入札不調に対応できる期間を確保し、再入札や不落随意契約等の手続きを行い、年度内での工事完了を行う。
 ・地域自治会と当該路線における整備後の防災訓練等について、新型コロナウイルス対策を踏まえた訓練方法や住民への周知についての調整を行う。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
23,815	23,815	19,052	4,763	0



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定は、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

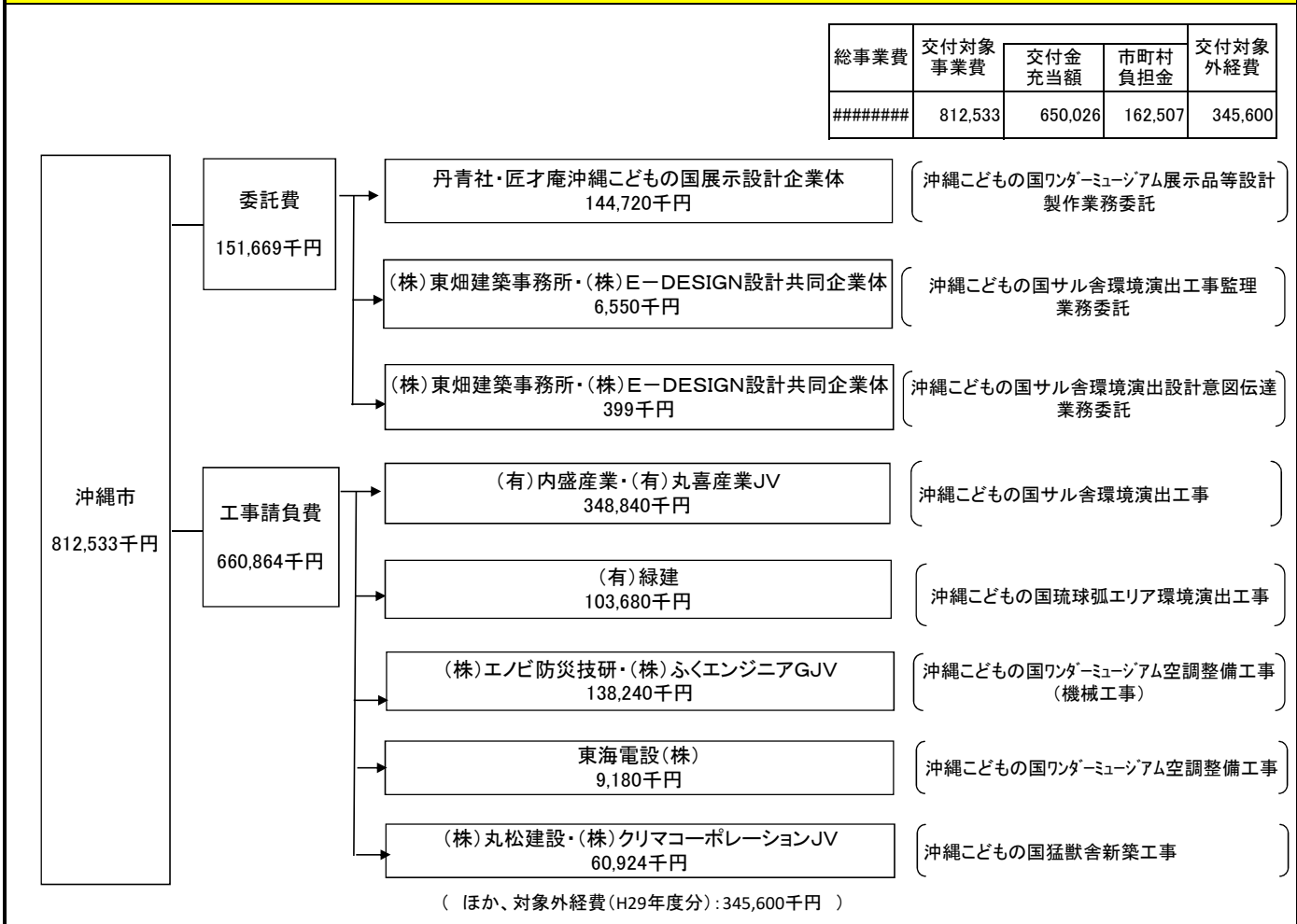
市町村名		沖縄市					
平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	13-① 沖縄こどもの国施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第5章-3-(2)-ア		
	担当部署名 企画部 プロジェクト推進室		事業実施(予定)年度 平成24~令和3年度		個性豊かで魅力あふれる基幹都市圏の形成		
事業内容			沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-3-(1)		
	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の機能強化のため、施設整備基本計画に基づき、動物園やワンダーミュージアムの充実を図るとともに、動物展示施設やミュージアム展示施設の整備を行う。						
効果発現年度	□当年度 ■後年度(R1年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	—	874,903	—		
		(b) 予算現額	—	812,533	—		
		(c) 増減額(b-a)	—	▲ 62,370	—	0	0
		(d) 繰越額	433,784	—	454,725		
	A. 計(b+d)		433,784	812,533	454,725	0	0
	B. 執行済額		431,461	357,807	454,725		
	うち交付金充当額		345,167	286,246	363,780		
	次年度繰越額		—	454,725	—		
	執行率(%) (B/A)		99.5%	44.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		充当率の調整により、建設工事及び業務委託の経費を減額(△62,370千円)した。入札不調の発生や資材の入手困難により、年度内での完了が困難となり、繰越(454,725千円)した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	サル舎施設演出工事の実施 琉球弧エリア環境演出工事の実施 ワンダーミュージアムの展示品等整備の実施 ワンダーミュージアムの空調整備実施 猛獣舎新築工事(その2)の実施		目標 (実施)	(実施)	()	()	
達成状況説明		実績 実施 実施					
・猛獣舎新築工事(その2)について、計画どおり実施し、目標を達成した。 ・サル舎施設演出工事、琉球弧エリア環境演出工事、ワンダーミュージアムの展示品等整備と空調整備については、平成31年度への繰越が生じた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R1年度)
	入園者数48万人	目標	()	()	(48万人)	()	()
		実績			49万人		
	サル舎施設演出工事の完了	目標	()	()	(完了)	()	()
		実績			完了		
	琉球弧エリア環境演出工事の完了	目標	()	()	(完了)	()	()
		実績			完了		
	ワンダーミュージアムの展示品等整備の完了	目標	()	()	(完了)	()	()
		実績			完了		
	ワンダーミュージアムの空調整備完了	目標	()	()	(完了)	()	()
実績				完了			
猛獣舎新築工事(その2)の完了	目標	()	()	(完了)	()	()	
	実績			完了			
【後年度成果目標】年間目標入園者数 平成31年度:60万人		目標	()	()	()	(60万人)	
進捗状況説明		・平成30年度の入園者数は、493,668人となり目標を達成した。 ・サル舎施設演出、琉球弧エリア環境演出、ワンダーミュージアムの展示品等及び空調整備、猛獣舎新築(その2)については、計画どおり完了し、目標を達成した。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(サル舎施設演出) 沖縄県内唯一の本格的動物園としてヤクシマザルを含む琉球弧の動物をアピールするソフトサービスを行う必要がある。 (琉球弧エリア環境演出) 沖縄県内唯一の本格的動物園として琉球弧の動物をアピールするソフトサービスを行う必要がある。 (ワンダーミュージアム展示品等整備) ワンダーミュージアムへの誘客を図るためのソフトサービスを行う必要がある。 (ワンダーミュージアム空調整備) 快適な空間を提供するとともに来園者ニーズに合ったソフトサービスを行う必要がある。 (猛獣舎新築(その2)) 来園者に配慮した新規猛獣舎工事を行うとともに、目玉動物舎として施設規模に見合った頭数の導入する必要がある。 (年間入園者数)	(サル舎施設演出) ヤクシマザルを含む琉球弧の動物をアピールするソフトサービスを検討する。 (琉球弧エリア環境演出) 琉球弧の動物をアピールするソフトサービスを検討する。 (ワンダーミュージアムの展示品等整備) ワンダーミュージアムへの誘客を図るためのソフトサービスを検討する。 (ワンダーミュージアム空調整備) 来園者ニーズに合ったソフトサービスを検討する。 (猛獣舎新築(その2)) 施設整備に合わせた動物導入を検討する。 (年間入園者数) 新たな話題を提供し、それらを効果的に情報発信することでさらなる誘客を図る。

今後の取り組み方針

(サル舎施設演出)
ヤクシマザルを含む琉球弧の動物をアピールする、エサあげ体験や動物ガイドなどのソフトサービスを検討・実施し、来園者満足度を向上させる。
(琉球弧エリア環境演出)
琉球弧エリアの動物をアピールする、エサあげ体験や動物ガイドなどのソフトサービスを検討・実施し、来園者満足度を向上させる。
(ワンダーミュージアムの展示品等整備)
ワンダーミュージアムへの誘客を図るためのソフトサービスを検討・実施し、来園者満足度を向上させる。
(ワンダーミュージアム空調整備)
来園者ニーズに合ったソフトサービスを検討・実施し、来園者満足度を向上させる。
(猛獣舎新築(その2))
施設整備に合わせた動物導入を実施していく。
(年間入園者数)
全国的に見ても類を見ないユニークな動物展示方法という新たな話題を提供し、それらを効果的に情報発信することでさらなる誘客を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 用 目 録 ・ 費 目	評価	点検項目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	
	○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	